

目標達成計画

事業所名 グループホーム めぐみの

作成日：平成30年1月11日

市町村受理日：平成30年1月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組内容	目標達成に要する期間
1	4	【運営推進会議を活かした取組】 運営推進会議の開催について、特定の家族には参加いただいている状況ではあるが、家族全員には運営推進会議の内容や目的などの趣旨説明が十分になされていなく、また実施した内容についての報告もしていない。会議の内容に基づき家族からの意見が得られにくい状況にある	少しでも運営推進会議に参加いただける家族の方が増えるよう、運営推進会議の趣旨や目的を記したものを書面にて送付し、その際実施した運営推進会議の記録についても添付する。少しでも家族の参加を増やすことができ、会議の場のできる限り多くの家族の意見をいただけることで事業所の運営や入居者のサービス等の改善に繋げていく	運営推進会議の意義、目的を記した文書と、今年度開催された運営推進会議の議事録をまとめて家族に送付し、運営推進会議をまず知っていただき、興味を持っていただくことを行い、来年度からは、会議が開催された都度、議事録を家族に送付していきながら、家族アンケートを実施したり、直接伺ったりして会議への参加の意思確認を行っていく	1年
2	6	【身体拘束をしないケアの実践】 福祉の仕事に初めて就かれた方が多く、また無資格者も多い中、身体拘束についての勉強会の実施や外部の研修会の参加もほとんどなく、身体拘束をしないケアを実践するために必要な知識や認識の不足により、自覚のない中で身体拘束が実践される可能性がある	身体拘束のないケアの実践ができる	身体拘束に関する勉強会を管理者または担当者を選出し、その方々が中心となってホーム独自で行い、これを定期開催する	1年
3	26	【チームでつくる介護計画とモニタリング】 計画作成担当者が中心に介護計画を立案しているせいか、計画の内容の理解、介護計画に沿ってのケアの実践が不十分であり、記録記載が職員によってばらつきがある。モニタリングの意味でも、プラン内容を意識して実践し記録に残すことが必要である	職員が介護計画の内容を理解し、それに基づいてケアの実践ができるようになる。記録についてもケアプランの内容を実践したら記録し、モニタリングに活用することができるようにする。介護計画について担当スタッフと共同で立案できるようになり、職員にもケアプランの重要性の理解に努める	ケアプランの意義や重要性についての勉強会を会議などを利用し周知していく。記録についても、今一度勉強会の開催などで今までの記録の仕方を振り返り、今後の記録方法の統一化を図る	1年
4	35	【災害対策】 地域住民と協力し、非常災害に備えるための体制を築く必要がある	自然災害マニュアルを整備し、地域住民を交え避難訓練を実施し、地域住民との協力体制を築く	年度末の運営推進会にて、消防職員の立ち会いのもと、運営推進会議の構成員や地域住民を交えた火災を想定した避難訓練を実施する	1年

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。